



RCCフォーラム

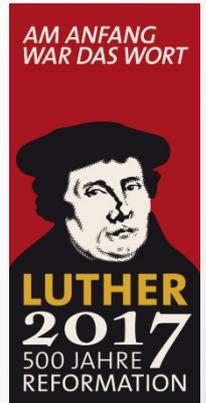
テゼ共同体のエキュメニズムにおける 宗教改革の位置

発題： 打樋 啓史 氏

(本学社会学部教授・宗教主事、RCC主任研究員)



今年の宗教改革500年記念は、歴史上初めてプロテスタントとカトリックが共同で行うもので、それは長い間分裂してきた両者が特に20世紀以降大きく歩み寄ってきたことの實りと言えるでしょう。この一致への歩みに影響を与えてきたのが、1940年にキリスト者間の和解を目指して創始されたフランスのテゼ共同体です。プロテスタント出身の創始者ブラザー・ロジェは、宗教改革の精神を重んじつつも、カトリック教会との和解を大きなテーマとして、教会が本来ひとつであることを可視化する道を求め続けました。そのようなブラザー・ロジェの思想と働きに注目し、和解をテーマとする宗教改革500年記念についてのテゼ共同体の意義を考えてみます。



● **日時**: 2017年10月5日(木)
17:10~18:40

● **会場**: 関西学院大学上ヶ原キャンパス
吉岡記念館3F会議室1

* 一般参加可・申込不要

関西学院 宗教改革500年記念行事



関西学院大学キリスト教と文化研究センター (RCC)

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155 TEL: 0798-54-6019 • http://www.kwansei.ac.jp/c_rcc/